

東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第716号]

2012 2013
12-1

- 2 博物館に初もうで 3 新春特別公開 4 2013年1月2日 東洋館リニューアルオープン!
- 5 特別展「中国王朝の至宝」 6 特別展「飛驒の円空——千光寺とその周辺の足跡——」
- 特別展「書聖 王羲之」 7 教えて!なぜなにトハク—其の5— 8・11 総合文化展 見どころ案内
- 2012年12月・2013年1月 日本美術の流れ/特集陳列「ガラスゴーから来た西洋画—博物館草創期の国際交流1—」
- 特集陳列「ライプツィヒから来た白磁彫像—博物館草創期の国際交流2—」
- 特集陳列「北九州の青銅器文化」/特集陳列「南九州の古墳文化」/特集陳列「松永耳庵の茶道具」ほか
- 12・13 みどりのライオン 教育普及事業「講演会/ワークショップ/こどもたちのアートのスタジオほか」
- 14 INFORMATION 15 TOPICS 16 東京国立博物館2012年12月・2013年1月の展示・催し物



トーハクで祝う the 日本のお正月

博物館に初もうで

2013年は、

東洋館リニューアルオープンと
ダブルでめでたいお正月です。



誰もが日本の伝統を感じるお正月。トーハクでは国宝「松林図屏風」をはじめとする名品の数々と、お正月らしい吉祥模様の美術・工芸品をそろえて皆様のご来館をお待ちしています。和太鼓や獅子舞などの伝統芸能も盛りだくさん。心豊かな新年のスタートをご家族そろってお迎えください。一月二日には、東洋館もリニューアルオープンして、めでたさもいつもの倍のトーハクで、ザ・日本のお正月を祝いましょう。

東京国立博物館140周年特集陳列

博物館に初もうで

巳・蛇・ヘビ

2013年
1月2日(水)―1月27日(日)
本館特別1・2室

毎年恒例、東京国立博物館が新年の初頭を華々しく飾っておくりしております「博物館に初もうで」。特集陳列では、2013年の干支にちなみ、蛇に関連した絵画、彫刻、工芸品などを一堂に集めてご紹介いたします。とかく嫌われがちなヘビ。しかしその神秘的な生態や形から、転じて守護や富をつかさどるシンボルとされることも多かったのです。恐れとうやまの入りまじった、人々の複雑な思いは、多様なヘビの造形を生みだしました。140年かけて、博物館に巣食ってきたヘビたち。とぐろをまいて、待っています！

(伊藤信二)



◎十二神将立像のうち 巳神

鎌倉時代・13世紀
京都・浄瑠璃寺伝承
仏さまの守護神になった蛇。頭の上に注目！



自在置物 蛇
昭和時代・20世紀
鉄製のヘビ。
自由自在に動きます！

◆ 新春イベント ◆

2013年1月2日(水)

- 9:45 東洋館リニューアル 開館記念式典 東洋館前 館長挨拶ほか
- 10:10 アジアの女神たち～祝福と歓迎の舞～* 東洋館前
- 10:30 和太鼓 和太鼓御響 正門内池前
- 11:15 江戸の遊芸 太神楽 仙丸 本館前
- 12:00 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 12:40 アジアの女神たち～祝福と歓迎の舞～* 本館前
- 13:15 和太鼓 和太鼓御響 正門内池前
- 14:00 江戸の遊芸 太神楽 仙丸 本館前
- 14:45 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前

2013年1月3日(木)

- 10:30 和太鼓 和太鼓御響 正門内池前
- 11:15 クラリネット・コンサート アマトウールwith 齋藤恵(バーカッション) 平成館ラウンジ
- 12:00 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前
- 13:00 和太鼓 和太鼓御響 正門内池前
- 13:45 クラリネット・コンサート アマトウールwith 齋藤恵(バーカッション) 平成館ラウンジ
- 14:30 獅子舞 東都葛西囃子睦会 本館前

*インド舞踊：佐藤幸恵、カンボジア舞踊：山中ひとみ、インドネシア舞踊：デワンタル・ダンスカンパニー
雨天時は、場所を変更、または中止になることがあります。

いけばな

2013年1月2日(水)～14日(月・祝) 池坊・蔵重伸氏

みどりのライオン

お正月限定☆ハンズオンアクティビティ

2013年1月2日(水)、3日(木)

お正月限定ワークショップの3つの特別企画で、「博物館に初もうで」を満喫しませんか？(本館20室にて、11:00からワークシートを配布。先着3000名様)

特別企画1 クイズ「東博ヘビ三昧」

2013年の干支は巳、ヘビです。展示室でヘビを表した作品を探し、クイズに挑戦してみましょう！(答え合はせは11:00～16:00、本館20室)

特別企画2 新春カードをデザインしよう

年賀状にはちょっと遅れるけれど、新春の東博ならではのオリジナルカードなら、贈られた方もきっと喜ばれるのでは？日本伝統の吉祥模様などのスタンプを使い、心をこめてカードをデザインしましょう。(11:00～16:00、本館20室。どなたでも参加いただけます)

特別企画3 トーハク140周年すごろく

トーハク140周年の歴史を学びながら楽しめるすごろくです。ガイドの代わりに館内をまわると歴史を実感できるはず。家に帰ってからでもご家族でお楽しみください。



寛永寺で特別公開

2013年1月2日(水)、3日(木) 10:00～15:00 寛永寺根本中堂特別参拝

根本中堂、徳川歴代将軍の肖像画(油画)、四天王像(江戸時代・元和6年(1620) 台東区登録文化財)、十二神将像(江戸時代・元禄15年(1702))を公開します。当館観覧券の半券(当日券)をご提示下さい。散華をお配りします。

ミュージアムシアター 東洋館の新シアターオープン記念品

2013年1月2日(水)、3日(木)の上演にご参加の全員に

記念品をプレゼント。上演時間等については当館ウェブサイトでご確認ください。

ミュージアムショップからお年玉

2013年1月2日(水)、3日(木)

ミュージアムショップで2,000円以上お買い上げの方に抽選でミュージアムグッズをプレゼント。

2013年1月2日(水)～6日(日)

ミュージアムグッズ・美術図書バーゲンセール

ホテルオークラレストラン ゆりの木、ガーデンテラスからプレゼント

2013年1月2日(水)、3日(木)

ゆりの木にてお食事ご注文のお客様先着150名様にフルーツゼリーをサービス。
ガーデンテラスにてお食事ご注文のお客様先着150名様にヒマラヤ岩塩パウダー(小袋)をプレゼント

特別公開

1月2日(水) — 1月14日(月・祝)
本館

毎年恒例、お正月の2週間限定特別公開を行います。
2013年の目玉は、国宝「松林図屏風」。
3年ぶりの登場です！



(右隻部分)

●松林図屏風

長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀

近くでみると激しい筆の勢いに圧倒されます。しかし距離をとると、湿った空気に包まれた松林があらわれてきます。じっと見ていると松の木が、能を舞うようにゆらりと揺れて見えるかも知れません。さまざまな魅力をもった「松林図」は日本水墨画の最高峰とさえいわれています。

本館2室

日本絵画史上最高傑作のひとつ



本館3室

名筆と美しい料紙のコラボ

●古今和歌集 (元永本) 下帖

平安時代・12世紀 三井高氏寄贈

日本最初の勅撰集『古今和歌集』が完全に残る冊子本として現存最古の写本で、奥書の「元永三年」に因んで元永本と呼ばれます。色とりどりの染紙に雲母摺文様などが施された料紙と、藤原行成の曾孫・定実(一〇七七―一一一九)の仮名とのコラボレーションが華麗です。

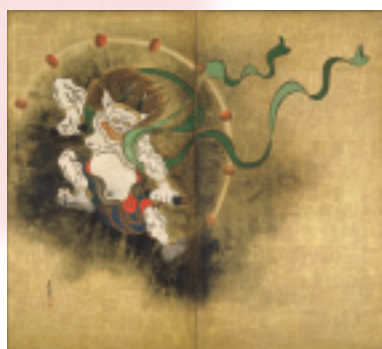


本館5・6室 1・2・24

●武將の誇りが宿る、格調高い模様 鎧直垂 白地蜀江文錦

江戸時代・19世紀

武將が鎧の下に着る鎧直垂。表地は八角形と正方形がつながり無限に広がっていく蜀江文を織り出しています。蜀江文は中国・明代に盛んに織られ、日本では宇宙観を表わす模様とみなされ名物裂や能装束などに取り入れられました。格調高い蜀江文錦の鎧直垂には、武將の誇りが感じられます。



本館7室

華麗なる光琳デザイン

◎風神雷神図屏風

尾形光琳筆 江戸時代・18〜19世紀

天空を疾走する風神と、雷鳴を轟かせる雷神が視線を交錯させて対照的な画面構成となっています。緻密に計算されたレイアウトは光琳の表現の特質です。芸能、古典文学など伝統文化を下敷にした光琳の斬新なデザイン感覚は、京都の人々にたいへんよこばれました。

●東行記

鳥丸光広筆 江戸時代・17世紀

旅の途上をめだき富士山



鳥丸光広(一五七九―一六三八)は公卿で、江戸時代初期を代表する能筆。幕府との交渉のために江戸や日光へと何度か下向していました。本巻は、江戸へ赴いた際の紀行文を揮毫したものの。富士山のスケッチも交えつつ自由闊達な筆致を展開しており、魅力あふれる作品です。

2013年1月2日

東洋館

オリニューアル
オープン!

誌面で見どころチェック!

来て見て感じるその前に、ニュースの
東洋館のリニューアルオープンです。

いよいよ、待ちに待った、

point
1

絶対に見逃せない
中国書画コレクション

ようやく
見られるのね!
たのしみ♪



●紅白芙蓉図
李迪筆
南宋時代・慶元3年(1197)
李迪は南宋の宮廷画家。時間の経過とともに色を変化させる芙蓉を描き、東洋画の写実主義の頂点に位置する作品です。
(展示期間:2013年1月2日～1月27日 8室)



●漁舟臥遊図巻 李氏筆 南宋時代・12世紀
全体を淡墨で描き、画面全体に吸い込まれていくよう。その高い精神性をたたえ、かつて乾隆帝が所蔵していた四名巻の一つでした。
(展示期間:2013年1月2日～1月27日 8室)

東洋館コレクションの総数はおよそ二万件。その幅と質の高さにおいて国内随一の東洋美術コレクションといえます。なかでも世界のレベルを誇るの、中国書画、中国陶磁、中国漆工、西域美術の四つのコレクション。さらにそのなかから「いちばん」を選ぶとすれば、中国書画でしょう。足利將軍家が収集した東山御物などの宋・元時代の名品が含まれていることが特長です。日本と中国の長い交流によって育まれた貴重なコレクションをご堪能ください。

point
2

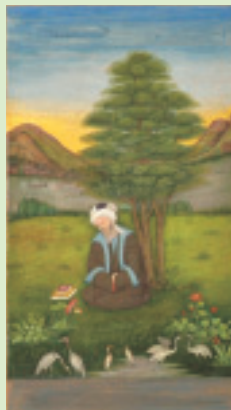
充実の新設展示コーナー

クメール(カンボジア)の彫刻、インドの細密画、アジアの民族文化の三つの新コーナーで新しい出会いと発見を!

いずれも東洋美術をめぐる旅のスペース的なスポット。さまざまな国・地域の風土と文化に思いをはせながら展示をお楽しみください。

木の下で思索する托鉢の聖者

インド、ムガル派 17世紀中頃
人物の衣装も細密な画風もベルシャの影響が色濃い。
(展示期間:2013年1月2日～1月27日 13室)



ワヤン・クリ・クレスノ
インドネシア、中部ジャワ
20世紀 ダナルト氏寄贈
水牛の革を彫りぬき、鮮やかな彩色を施した影絵人形
(展示期間:2013年1月2日～4月7日 13室)

point
3

教育普及スペース オアシス



ほくにびつたりの
スポットだほ

東洋美術をめぐる旅人がほっと一息つけるスポット

「オアシス」が2カ所新設されました。アジア文化の豆知識を映像や体験を通してお楽しみください。最初のオアシスは、2室―旅の案内所。映像で旅の紹介をします。エジプトからインドへ商いをしながら移動する商人や、三蔵法師の旅をご覧ください。次のオアシスは6室―アジアの古い体験。アジアの古いコーナーです。羊やヤギのくるぶしの骨を使うモンゴルの占いや、夢占いを体験できます。たとえ結果が悪くても、アジアのラッキーアイテムのスタンプを押せば、良い運がつかめそう!

記念事業

ガイドツアー

東洋館をめぐる旅

リニューアルした東洋館の楽しみ方をご案内します。

日時:1月5日④ 10:30～11:50 / 8日④ 10:30～11:50

*各回とも内容は同じです

講師:白井克也(平常展調整室長)

集合:開始時までに、東洋館エントランスにお集まりください。

*聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

*ツアー中のお入りは自由

東洋館リニューアル記念講演会

ドイツ・カナダ所在のアジア美術と展示方法 ―ベルリンにおける新たな挑戦―

日時:1月19日④ 13:30～15:00

講師:クラス・ルーテンベーク博士(ベルリン国立アジア美術館長)

会場:平成館大講堂 定員380名(先着順)

*聴講無料(ただし当日の入館料は必要) *開場は13:00

*講演は英語。日本語逐次通訳付。

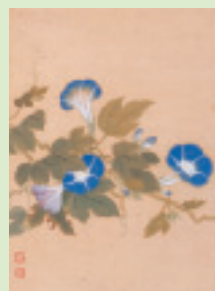
東洋館リニューアルオープン記念 予告

上海博物館所蔵 中国絵画名品展(仮称)

日時:2013年10月～2013年12月(詳細未定) 会場:東洋館8室

2010年に上海博物館で行われた日本国内所蔵の中国絵画名品展の交換展として、上海博物館所蔵の中国絵画の名品が東洋館にやってきます。北宋絵画の名品・王詵「煙江疊嶂図巻」、元代文人画の代表作・王蒙「青卞隱居図」、明代エキセントリックスクールの巨匠・呉彬「山陰道上図巻」など、日本で初めて公開される作品、および一級文物15件を含む全40件が展示されます。北宋から明清までの個性あふれる中国絵画の世界をお楽しみください。

(塚本鷹充)



花卉図冊

惲寿平筆 清時代・康熙25年(1686) 上海博物館蔵



10月10日(水) — 12月24日(月・休)
平成館

中国王朝の至宝

特別展

知らなかった中国が、ここにあります。
さまざまな顔、さまざまな文化に
触れてみませんか？

前号に引き続き、展覧会の見どころを取り上げてみます。中国では、紀元前後の秦・漢と、六世紀末から十世紀初めの隋・唐による統一王朝の時代をはさんで、各地に複数の王朝が興亡する分裂の時代が続きました。特に北方民族と漢民族との王朝が対峙した南北朝と遼・宋の時代は、中国文化に新たな刺激をもたらし、特色ある文物が生み出されました。

特別展「中国 王朝の至宝」
2012年10月10日(水)～12月24日(月・休)
平成館

主催:東京国立博物館、中国文物交流中心、NHK、NHKプロモーション、毎日新聞社、朝日新聞社
後援:外務省、中国国家文物局、中国大使館
協賛:信越化学工業、大日本印刷、三井住友海上
協力:全日本空輸、東京中国文化センター

観覧料金:一般1,500円(1,200円)、
大学生1,200円(900円)、高校生700円(400円)
※()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料
※障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ:ハローダイヤル
03-5777-8600
展覧会ホームページ
<http://www.china-ocho.jp/>

◆巡回予定
神戸市立博物館 2013年2月2日(土)～4月7日(日)
名古屋市博物館 2013年4月24日(水)～6月23日(日)
九州国立博物館 2013年7月9日(火)～9月16日(月・祝)

南朝



蓮華文尊
南朝・6世紀 江蘇省
南京市江寧区雲山南
朝墓出土
南京市博物館蔵
側面に蓮弁をあしらった大形の青磁器。どっしりと安定した器形に漢文化の伝統が息づく。

対決パート③

北朝×南朝

北朝



〈一級文物〉靈獸天人文方碇
北魏・5世紀 山西省大同市南郊出土
山西博物院蔵
伝統的な器物に、靈獸や天人などの文様をいっききと描き出した。北方ならではの作品。

遼



唐に続く五代十国の乱世を収めたのが宋です。時を同じくして、中国北部では契丹族が勢力を伸ばして遼王朝をうち建てました。遼は、漢族の伝統文化や仏教文化の影響のもと、民族的な要素を前面に打ち出し、奔放な力強さにあふれた独特の文化を生み出しました。宋は、漢族の伝統文化を深化させて、深い精神性を備えた新たな境地を切り開き、中国文化の一つの頂点を現出しました。遼と宋という南北の王朝の文物を対比し、中国文化の多様性と奥深さを眺めてみます。
(松本伸之)

力士托棺
遼時代・10～11世紀 遼寧省朝陽市出土
遼寧省博物館蔵
力士が棺を背負うという、珍しい形の石彫品。契丹特有の造形感覚がよく発揮されている。



金製龍
北宋時代・11～12世紀 浙江省杭州市西湖出土
浙江省博物館蔵
金の薄板を加工して躍動感あふれる龍の姿を表現する。伝統文化の展開の様を端的に示す。

対決パート④

遼×宋

宋



2013年
1月12日(土)～4月7日(日)
本館特別5室

円空仏のみどころをご紹介します。
表情、造形に注目！

円空仏は素朴なものと思っっている方が多いのではないのでしょうか。円空は像に金箔を貼ったり、色を塗ったりしませんでした。それは「木」にもともと「ほとけさま」がこもっているという思いによるのです。村人のためお金を使わないというのも理由の一つでしょう。しかし、素朴という評価は考え直すべきです。とても独創的な優れた彫刻家です。たとえばこの二つの像。写実的ではなく単純化されていますが、からだの骨格は捉えられ、いきいきしています。像の底面の写真をご覧ください。ずいぶん薄い材で造っています。浮彫りと言ってもいいくらいなのに、量感があります。展覧会では円空のさまざまな面を紹介しますが、まずは造形を楽しんでください。(浅見龍介)



① 柿本人麿坐像

円空作 江戸時代・17世紀
岐阜・東山神明神社蔵
円空は和歌を詠んだので、人麿を敬愛していたのかもかもしれません

② 如意輪観音菩薩坐像

円空作 江戸時代・17世紀
岐阜・東山白山神社蔵
丸い顔で微笑む表情が魅力的。高さ75cmなのに奥行は14cm弱

特別展

「飛驒の円空

—千光寺とその周辺の足跡—

2013年1月12日(土)～4月7日(日)
本館特別5室

主催:東京国立博物館、千光寺、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

特別協力:高山市、高山市教育委員会

観覧料金:一般900円(800円)、大学生700円(600円)、高校生400円(300円)

*()内は前売り、20名以上の団体料金。中学生以下無料

*前売券の販売は1月11日(金)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)およびチケットぴあ(Pコード765-365)、ローソンチケット(Lコード31632)、イープラスで販売。

*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ:ハローダイヤル
03-5777-8600

展覧会ホームページ
<http://enku2013.jp/>

関連事業

記念講演会

① 2013年1月26日(土)13:30～15:00

「円空と日本の風土」浅見龍介(東洋室長)

② 2013年3月9日(土)13:30～15:00

「飛驒人と円空の祈り」大下大圓(千光寺住職)

会場:平成館大講堂

定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合抽選)
聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途、入館料が必要)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会番号(①②のいずれか)を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込ください。

*1枚のはがきで、1つの講演会につき、最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先:〒104-8325(住所不要)読売新聞東京本社文化事業部「飛驒の円空」(希望する講演会番号①②のいずれか)係

申込締切:①12月19日(水)必着 ②2月6日(水)必着

特別展

「書聖 王羲之」

2013年1月22日(火)～3月3日(日)
平成館

主催:東京国立博物館、毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション

特別協力:朝日新聞社 後援:外務省

特別協賛:大和ハウス工業 協賛:あいおいニッセイ同和損保、トヨタ自動車、日本写真印刷、ゆうちょ銀行
協力:内田洋行、全日本空輸、東京中国文化センター、二松学舎大学

観覧料金:一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)

*()内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料

*前売券の販売は、1月10日(土)から1月21日(月)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)のほか、チケットぴあ(Pコード=早割りペア:765-418、前売:765-417)、ローソンチケット(Lコード=30103)、セブンイレブン(セブンコード=019-719)、イープラスほか、主要プレイガイドにて販売。

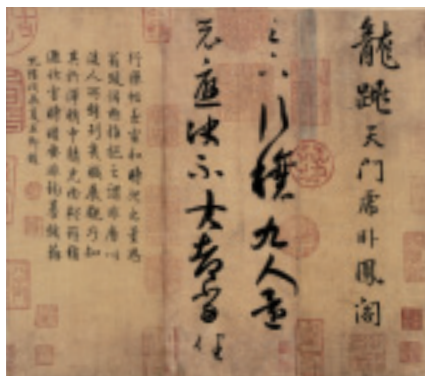
*お得な早割りペア券(2枚1組セットで2,000円)を、12月22日(土)までの期間限定で販売。(早割りペア券は、東京国立博物館では販売しません。)

*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ:ハローダイヤル
03-5777-8600

展覧会ホームページ
<http://o-gishi.jp/>

唐の太宗皇帝は、王羲之の書を愛好し、宮中の職人に精巧な複製を作らせました。原本はすべてなくなりましたが、その複製も現存しているものは世界中で十指に足りません。その中の一つである行穰帖は、王羲之の前期の書風を示す、極めて貴重な資料です。宋の徽宗皇帝の時代に、宮中に収蔵されていたという由緒ある優品で、数々の名家の收藏を経て、明の万曆三十二年(一六〇四)には董其昌が跋を書き記しています。その後、清朝の宮中に入り、乾隆帝や嘉慶帝の印が各所に捺されました。(富田淳)



「王羲之」展の目玉のひとつ
書聖の文字を今に伝える貴重な作品

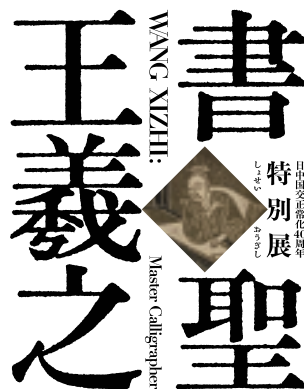
行穰帖

原跡:王羲之筆、東晋時代・4世紀
プリンストン大学付属美術館蔵 Princeton University Art Museum / Art Resource, NY
清朝内府から流出したあと張大千が購入、一時は日本に将来されましたが、後にアメリカのエリオット氏の有に帰しました。

関連事業は前号4ページあるいは当館ウェブサイトをご覧ください。

特別展 日中国交正常化四十周年
東京国立博物館百四十周年

2013年
1月22日(火)～3月3日(日)
平成館



教えて！

なぜなに トーハク

― 其の5 ―

連載第5回は、東京国立博物館の館長のお仕事！
普段どんなことをしているのかをご紹介します。

おはにちは！
ぼく、トーハクくん！
今号では復活だよ！
わっほー！

こんにちは、
ユリノキちゃんです。
今日の謎は、東京国立博物館の
「館長ってどんな仕事をしているの？」よ！



ユリノキちゃん



トーハクくん

Q 館長ってどんな仕事をしているの？

の方に、ご来場いただく特別展で20万人目、30万人目のお客様をお迎えするときは、必ず館長が自ら感謝の気持ちをお伝えしています。また、国内だけでなく海外で行う国際会議やシンポジウムへの出席、特別展などで関わる海外の博物館への来訪など、国際交流のために長期間海外出張が続くこともあります。

一方で、上野公園や台東区などの地元関係機関との連携や交流も行っています。

館長の仕事はこれですべてではありません。館長曰く、「東京国立博物館がこれからも皆様に愛されるよう、そして世界に誇れる博物館を目指して一層の努力を進めていきたい」とのことです。

館長の仕事は多種多様！

東京国立博物館は、「独立行政法人国立文化財機構」という組織の一施設です。貴重な文化財の保存と活用を図ることを目的とし、その使命を果たす責任をもっています。館長はその代表でもあります。

館長の仕事は日々さまざまありますが、文化庁および機構内・館内での会議をはじめ、各部署が抱える事案について最終的な決定権をもっています。

また、館の催しに出席したり、一般来館者向けに講演を行ったりすることもあります。多く

館長さんはきっと
いつも席に座っている
だけだよ。



トーハクくん
そんなふうに思っていたの！？

館長さんはとても
忙しいほー。
でも、ときどき展示
室をふらっと歩いて
るほ。

銭谷眞美館長のある日のスケジュール

9:30	出勤
10:00～11:00	文化庁と打ち合わせ
11:30～14:00	伝統文化活性化国民協会 理事懇談会 出席
14:30～15:50	東京国立博物館運営会議 主催
16:45～17:30	国会議員に当館事業についての説明
18:00～19:00	日本伝統工芸展授賞式・レセプション 出席

館長室にて



館長さんは
トーハクの展示を
みるのが大好き
なんですって！

お正月の鏡割り
イベント
2012年1月2日



第7回 日中韓国立
博物館長会議
(国立中央博物館)
2012年10月18日



ねえねえトーハクくん。
館長さんとわたし、
共通点があるのよ！
知ってる？

館長さんと
ユリちゃん・・・
なんだほ？



館長さんは自筆で
署名することが多いのよ。
そういうときのために
書の研究者である副館長さんに
習っているそうよ！



館長室に飾られた館長の書

館長さん
とっても上手だよ！

知らなかったほ！
なんでだよ？

館長さんはときどき
副館長さんに書道を
習っているのよ！
私も特技は書道なの。



平安時代から江戸時代までに用いられた刀剣や甲冑などの武具に加えて、武士の肖像画や書を展示します。

◎紺糸威南蛮胴具足
安土桃山時代・16世紀

徳川家康の四天王の一人、榊原康政が家康から拝領した具足です



本館 ⑤室
武士の装い
— 平安～江戸

4

茶の美術

日本の伝統文化である茶の湯のなかで育まれた美術を紹介します。

11/27 火
2/24 日



◎大井戸茶碗 有楽井戸

朝鮮時代・16世紀
松永安左門氏寄贈
耳庵松永安左門が益田鈍翁に競り勝ったことで知られます

◎志野茶碗 銘 橋姫

安土桃山～江戸時代・16～17世紀
松永安左門氏寄贈
耳庵愛蔵の茶碗で、大振り力で強い作風が特徴的です



本館 ④室
茶の美術

本館 ③③室
禅と水墨画
— 鎌倉～室町

本館 ③②室
宮廷の美術
— 平安～室町

本館 ③①室
仏教の美術
— 平安～室町

3 - 3

禅と水墨画

禅宗の本格的導入にともない成立した水墨画と墨跡をご覧ください。

3 - 2

宮廷の美術

宮廷貴族社会を中心に育まれたやまと絵や書、調度品の世界。

1/2 水 2/11 月・祝

和歌や物語の享受と密接に関わる鎌倉時代の景物画を展示します。

◎山水屏風

鎌倉時代・13世紀
京都・神護寺蔵
平安絵画の遺風を留める、現存最古のやまと絵屏風



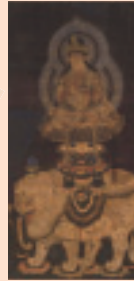
◎佐竹本三十六歌仙絵巻断簡(住吉明神)

鎌倉時代・13世紀 松永安左門氏寄贈
歌神・住吉明神を住吉社の景観によって表わしています

11/27 火 12/24 月・休

◎普賢菩薩像

平安時代・12世紀
鳥取・豊乗寺蔵
精緻な截金による光背や衣の文様表現に、往時の煌びやかな美しさをうかがうことができる普賢菩薩画像の名品です



2

国宝室

絵画・書跡の名品をゆったりとした空間で心静かに鑑賞していただくための展示室です。

1/2 水 1/14 月・祝

◎松林図屏風

長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀
墨の濃淡だけで風と光の情景と松の木々の遠近をだしています



1/16 水 2/11 月・祝

◎秋冬山水図

雪舟筆 室町時代・15世紀末～16世紀初

1/2 水 2/11 月・祝

◎銅梅竹透釣燈籠

千葉市中央区千葉寺町
千葉寺址出土
室町時代・天文19年(1550)
畑野勇治郎氏寄贈
梅樹と竹の透しが美しい。茶の湯名で名高い天産と考えられています



◎一遍上人伝

鎌倉時代・14世紀
長野・金台寺蔵
雪景色の静けさが伝わってくるような松島の図



3 - 1

仏教の美術

— 平安～室町

絵画、彫刻、書跡など、日本仏教美術の多様で多彩な世界をご覧ください。

12/24 月・休

◎法蓮華經文句 卷第四 断簡(唐紙経切)

伝藤原行成筆 平安時代・11世紀
雲母刷文様が美しい舶載の紙に繊細な筆致で書写した『法華經』の解説

◎興福寺鎮壇具

唐時代・8世紀

奈良市興福寺中金堂須弥壇下出土

鍍上りがよく文様が鮮明であることから、唐鏡と判断される名品です

◎瑞花双鳳八花鏡

唐時代・8世紀

奈良市興福寺中金堂須弥壇下出土

鍍上りがよく文様が鮮明であることから、唐鏡と判断される名品です

1 - 1

日本美術のあけぼの

— 縄文・弥生・古墳

日本美術の原点として縄文から古墳時代の代表作品を紹介します。

5/6 月・休

◎土面

縄文時代(晩期)・前1000～前400年

埼玉県羽生市発掘出土

目や口の周りと頬や顎を隈取のように赤く塗った妖しい土面



◎銅鐸

弥生時代(後期)・1～3世紀

滋賀県野洲市小篠原大岩山出土

鳴り物としての機能を失い、祭器として大型化し装飾性が増した銅鐸



1 - 2

仏教の興隆

— 飛鳥・奈良

飛鳥時代から奈良時代にかけての仏像や経典など、古代の仏教美術を紹介します。

12/24 月・休

◎興福寺鎮壇具

唐時代・8世紀

奈良市興福寺中金堂須弥壇下出土

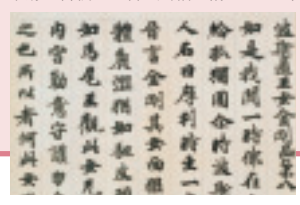
鍍上りがよく文様が鮮明であることから、唐鏡と判断される名品です



1/2 水 2/11 月・祝

◎賢愚經断簡(大聖武)

伝聖武天皇筆 奈良時代・8世紀
賢者・愚者に関する話を収めた経典で、筆跡と料紙は王者の風格を備えています



7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

大画面の作品から生み出される空間の広がりを感じてください。

1/16 水 — 2/24 日

◎山水図屏風

山崎 山崎 山崎
 山城百川筆
 江戸時代・延享4年
 (1747)

山々と大河が柔らかな光で包まれています



11/27 火 — 1/14 月・祝



◎琴棋書画図屏風

海北友松筆
 安土桃山〜江戸時代・16〜17世紀
 気品を漂わせる艶やかな唐美人が四芸を嗜む姿

5

6

武士の装い — 平安〜江戸

1/16 水 — 4/14 日

◎朱漆金蛙巻大小

安土桃山時代・16世紀
 豊臣秀吉の指料で、朱塗の鞘に金板を螺旋状に巻いた華やかな拵です



8-1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

安土桃山から江戸時代に入々の身の回りを飾った調度や器を展示します。

12/24 月・休

季節に合わせ、菊や楓など秋に因んだ意匠の品々を中心にご覧いただけます。



七宝菊水文引手

江戸時代・18世紀

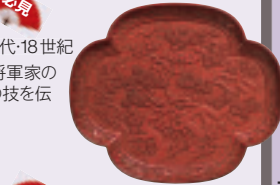
菊の露がしたり落ちた川の水を飲むと長生きするという故事から、菊水の文様は長寿の象徴

1/2 水 — 3/24 日

おめでたい文様や、冬の寒さに耐える植物を主題にした作品をご覧ください。

◎松竹梅堆朱盆

堆朱楊成作 江戸時代・18世紀
 堆朱楊成は、代々將軍家の用命を受け、堆朱の技を伝え続けた家柄です



◎色絵椿松竹梅文透入重蓋物

京焼 江戸時代・18世紀
 器の内面にも、各段に松・竹・梅を金彩も交えて華やかに描き、めでたさに満ちています

8-2

書画の展開 — 安土桃山・江戸

さまざまな表現で広がる豊かな視覚文化の時代を体感してください。

11/27 火 — 1/14 月・祝

絵画は吉祥画題を中心に展示します。

◎百寿字

戸川安恵筆
 江戸時代・文政2年
 伯父さんの古稀を祝って書いたという様々な「寿」



◎松梅群鶏図屏風

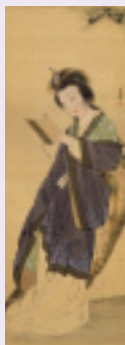
伊藤若冲筆
 江戸時代・18世紀
 「鶏の画家」で知られる若冲のさまざまな姿の鶏たち

1/16 水 — 2/24 日

季節にかかわる花鳥図とともに、狩野派、琳派など各流派の人物図をご覧ください。

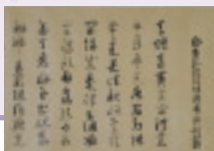
◎呉美人図

長沢芦雪筆
 江戸時代・18世紀
 細やかな描写に気品漂う芦雪会心の女性像



◎真草千字文

近衛家照筆
 江戸時代・18世紀
 江戸前期の公家の学芸を代表する家照の筆跡



9

能と歌舞伎

室町時代〜江戸時代に用いられた能面・能装束・歌舞伎衣装などを紹介します。

12/24 月・休

三輪明神の神婚説話をもとにした謡曲「三輪」に合わせて面・装束を展示します。



◎唐織

濃緑地花菱
 亀甲藤巴模様
 江戸時代・17世紀
 江戸時代初期の古式なデザインをのこす唐織は落ち着いた色調が特色

1/2 水 — 2/24 日

日本の伝統的な吉祥模様の世界を能装束や小道具のデザインを通して楽しんでいただけます。



◎唐織

桐落地松帆模様
 上杉家伝来
 金色に輝く海原をゆったりと渡る帆船の模様はおめでたい気分にあちています

【衣装】小袖や髪飾り、印籠や根付など江戸時代のファッションに関する展示です。

12/24 月・休

晩秋にふさわしい紅葉模様や、名所を表した風景模様の小袖などを展示します。



◎振袖 白紬地楓竹

矢来文字模様
 江戸時代・18世紀
 江戸時代のデザインブック「当流模様 雛形松の月」にも掲載される小袖模様

1/2 水 — 2/24 日

お正月にちなみ、吉祥模様をデザインしたキモノを展示



◎振袖 白紬地

梅樹衝立鷹模様
 江戸時代・18世紀
 ところどころに配される衝立には勢いよくうねる梅樹模様が描かれています

10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

江戸時代の美人や風景を描いた版画と肉筆の浮世絵を展示します。

11/27 火

12/24 月・休

葛飾北斎の「忠臣蔵」11枚揃いなど仮名手本忠臣蔵を題材とした浮世絵を中心に展示します。

◎假名手本忠臣蔵・初段

葛飾北斎筆
 江戸時代・19世紀
 北斎の忠臣蔵、顔世に付け文を渡す師直



1/2 水 — 1/27 日

春興摺物や正月風俗を描いた作品に「雛形若菜初模様」などのシリーズ物を加えて。

◎江島記行・高輪

魚屋北溪筆
 江戸時代・天保4年(1833)
 高輪から江ノ島までの旅の摺物



注目の特集

スコットランドからの贈り物

東京国立博物館140周年特集陳列

「グラスゴーから来た西洋画」 博物館草創期の国際交流1

11月13日(火)～12月24日(月・休)

● 本館特別1室



ジーニー・ディーンズ

ウィリアム・ウォレス筆

19世紀

グラスゴー博物館寄贈

小説「ミドロジアン」の主人公。スコットランドの象徴、タータンチェックのショールをまとっています

鹿図「谷の覇者」

石版印刷による複製

原本：エドウィン・ランシア筆

マクリューアー・アンド・マクドナルド社印刷 19世紀

グラスゴー博物館寄贈

ウイスキーのラベルの原案として知られる絵です。原画を模写して版を起こしています

明治時代初期は、日本の近代化の始まりの時期であると同時に東京国立博物館の草創期にあたります。当館の前身である内務省博物館は殖産興業政策の一翼を担い、万国博覧会への出品や内国勸業博覧会の開催などを通じて工芸品など産業の発展に携わり、また海外から品物や標本を集め、博物館の収蔵品としました。海外の博物館との物品交換事業も、こうした活動の一環として行なわれたものです。この展示では、英国グラスゴー博物館との物品交換事業について、明治十三年(一八八〇)に寄贈された絵画を中心に紹介します。石

十九世紀ヨーロッパの、優美な白

東京国立博物館140周年特集陳列

「ライプツィヒから来た白磁彫像」 博物館草創期の国際交流2

12月11日(火)～2013年3月3日(日)

● 本館19室



エロスとプシュケ

19世紀

ドイツ、シャイベールスバツハ窯

ライプツィヒ民族学博物館寄贈

新古典主義の代表的な彫刻家アントニオ・カノーヴァの代表作に基づいています

東京国立博物館140周年を記念して、ライプツィヒ民族学博物館から明治十年(一八七七)に寄贈されたシャイベールスバツハ窯の白磁彫像を展示します。当時ヨーロッパでは東洋の白磁を模倣した磁器の生産が可能になり、各地の窯で大理石の彫刻のミ

ニチュアが作られ、発達しつつあった市民階級に好まれました。寄贈品の中には、ギリシャ彫刻のほか、それらを手本とした十八十九世紀の新古典主義の彫刻があり、特にイタリアの彫刻家アントニオ・カノーヴァの作品の模造が多く含まれています。デン

マークの彫刻家トルヴァルセンのレリーフは、壁掛けの連作として製作されました。ダンネスカールウホなど、ドイツの新古典主義彫刻も多く再現されています。十九世紀ヨーロッパの雰囲気、一端に触れていただけでも幸いです。(白井克也)

考古資料相互活用促進事業

青銅器の生産とその展開

特集陳列

「北九州の青銅器文化」

10月30日(火)～2013年3月10日(日)

● 平成館 考古展示室



ひらがたどうほこ 広形銅矛

弥生時代(後期)・1～3世紀
福岡県北九州市小倉南区重留遺跡 2地点1号住居跡出土
この銅矛は住居内で複数回埋め戻し(埋納)が繰り返されたとされる

形青銅器の大型化は弥生時代の青銅器の特徴ともなっています。今回の特集陳列では、古くは「金敵」と呼ばれた北九州市の各遺跡から発見されたさまざまな青銅器に注目しつつ、対馬を含めた北九州の青銅器ならびにその影響下で誕生した石器類を展示し、当該地域の青銅器文化のあり方を紹介します。中でも、北九州市重留遺跡の広形銅矛や松本遺跡の現在最古とされる鋳型などは必見です。是非ご覧ください。(井上洋一)

日本列島には銅剣・銅矛・銅戈といった武器類のほか、鉈・鑿・斧といった工具や銅鏡などの青銅器が弥生時代前期末から中期初頭にかけて朝鮮半島から北九州に流入されます。そして、やがてこれらの生産が北九州を中心展開されていきます。銅剣などは単なる武器ではなく首長等の威信財として銅鏡や管玉などとともに墓に副葬されましたが、次第に大型化し、祭器として用いられるようになります。銅鐸とともにこうした武器

特集陳列

「南九州の古墳文化」

12月4日(火)～2013年3月3日(日)

● 平成館 企画展示室

の古墳文化が定着していることも知られていました。しかし近年、地元自治体・大学の調査研究によって、四世紀にはすでに畿内の古墳が出現し、五世紀の大規模な古墳群と地下式横穴墓が一体の関係にあることが明らかになりました。なかには前方後円墳の中心に営まれている地下式横穴墓さえ確認されています。今年度は宮崎県立西都原博物館が所蔵する宮崎県内の地下式横穴墓出土品と当館所蔵の宮崎・鹿児島県出土品と、ほかの地方には見られない独自性の高い古墳文化をご紹介します。(古谷毅)

◎埴輪 船

古墳時代・5世紀

宮崎県西都市三宅

西都原古墳群出土

高い造形技術で造られた器財埴輪



よこはなかわとじなんこう 横刈板革短甲

古墳時代・5世紀

宮崎県西都市三宅

西都原4号地下式横

穴墓出土

5世紀の全国統一規模

ハイク製品

古墳文化発祥の畿内地方から遠隔地の南九州地方は、十数年前までは古墳文化の特殊性が予想されていました。五世紀にはその代表とされた宮崎県中心の地下式横穴墓と、鹿児島県中心の板石積石棺墓とよばれる特異な墓制が出現します。一方で、大正時代から宮崎県西都原古墳群をはじめ高いレベル

松永コレクションの名品、取り合わせ

東京国立博物館140周年特集陳列

「松永耳庵の茶道具」

11月27日(火)～2013年2月24日(日)

● 本館4室

松永安左工門氏(一八七五～一九七二)は、戦前戦後を通じて電力界の重鎮として活躍しま

した。
還暦後に茶の湯を始め



文琳茶入 銘 宇治

中国 南宋～元時代・13世紀 松永安左工門氏寄贈
松永コレクションのはじまりともいえる茶入です

ことから、『論語』の「六十にして耳順う」にちなんで耳庵という号を名乗るようになります。益田鈍翁(一八四八～一九三八)や、原三溪(一八六八～一九三九)といった我が国の近代茶の湯の主導者たちと広く交流をもち、古美術品の蒐集においても強く影響を受けました。

は、第二次世界大戦以前に氏が蒐集し、昭和二十二年(一九四七)にご寄贈いただいたものです。今回の特集陳列では、蒐集家としての名を一躍有名にした文琳茶入 銘 宇治、大井戸茶碗 有楽井戸など、松永コレクションを代表する茶道具を展示します。氏が茶の湯を通じて蒐集、愛好された名品の数々を

ご堪能ください。

(横山梓)



○大井戸茶碗 有楽井戸

朝鮮 朝鮮時代・16世紀
松永安左工門氏寄贈
茶の湯の先達・鈍翁に競り勝って手に入れたというエピソードのある茶碗です

気になる この部屋・ この作品



●普賢菩薩像

平安時代・12世紀
鳥取・豊乗寺
東博の普賢菩薩像と対照的な、量感豊かな像容と温和な彩色、精緻な截金表現が見所です

光背や衣の美しい文様に注目

本館2室 国宝室

国宝 普賢菩薩像

11月27日(火)～12月24日(月・休)

全ての人がある身そのままで成仏し救済されることを説く法華経。普賢菩薩はその法華経を信仰する人を守護するとされる菩薩です。この画像は、宮廷貴族の間で法華経信仰がとりわけ盛んとなり、仏画などに美麗さ

を追求した平安時代後期に制作されたと考えられます。今はくすんでいますが、精緻な截金による光背や衣の文様表現に、往時の煌びやかな美しさをうかがうことができる普賢菩薩像の名品です。この時期、本館3室仏教の美術では法華経信仰に関連する作品を展示しますので、併せてお楽しみください。

(沖松健次郎)

本館9室 能と歌舞伎
能のデザインに見る吉祥模様

能のデザインに見る吉祥模様

直垂 縹麻地鶴亀

重文 松竹模様

2013年1月2日(水)～2月24日(日)

直垂とは、本来、武士の正装用に用いられていた装束で、上衣と長袴で構成されています。武士が着用する直垂には、錦や



◎直垂

縹麻地鶴亀松竹模様
安土桃山時代・16世紀
岐阜・春日神社所蔵
阿吽の双鶴に亀、松竹を染めた、吉祥尽くしの模様

本館10室 浮世絵と衣裳
恋文を巡る仇討ち物語

忠臣蔵・女のいさかい

11月27日(火)～12月24日(月・休)

縦十三センチほどの九つ切判と呼ばれる小さな浮世絵。「画狂人北斎画」の落款から葛飾北斎四十歳代の作品であることがわ



忠臣蔵・女のいさかい

葛飾北斎筆 江戸時代・享和2年(1802)
江戸っ子のセンスが遊び心の忠臣蔵から見えてきます

かり、さらに右上に「戌」とあることから、享和二年(一八〇二)正月に出版された「忠臣蔵」を題材としたシリーズの摺物とわかります。添えられた狂歌の中に「たをや女の年始のふみのかな手本」や「梅が香ほよにつけし短冊」とあり、『仮名手本忠臣蔵』の高師直が顔世御前に付け文を渡した「大序」を下敷きに、恋文を巡っての女の争いが描かれています。

(田沢裕賢)

講演会

東京国立博物館 140 周年月例講演会

博物館草創期の国際交流

海外の博物館とともに歩んだ初期の歴史をたどります。

日時：12月15日(土)13:30～15:00

講師：白井克也(平常展調整室長)・遠藤菜子(国際交流室研究員)
(関連する特集陳列「グラスゴーから来た西洋画―博物館草創期の国際交流1」、「ライブツィヒから来た白磁彫像―博物館草創期の国際交流2」の詳細は10ページ参照)

外国の博物館と手を取り合ってきたから、トーハクの所蔵作品は充実しているのね



東京国立博物館 140 周年月例講演会

巳年一へびの美術入門―

巳年のお正月、東博にはへびの美術・工芸品が大集結。魅惑的で多様なへびの造形世界をご紹介します。

日時：2013年1月5日(土)13:30～15:00

講師：土屋貴裕(絵画・彫刻室研究員)

(関連する特集陳列「博物館に初もうで―巳・蛇・へび」の詳細は2ページ参照)

特別講演会

北部九州の弥生文化―^{きく}企救の国の青銅器文化を中心として―

古くは「企救の国」と呼ばれた北九州地域の青銅器文化を最新の発掘成果も踏まえ紹介します。

日時：12月22日(土)13:30～15:00

講師：松井和幸氏(北九州市立いのちのたび博物館歴史課長)

(関連する特集陳列「北九州の青銅器文化」の詳細は10ページ参照)

* 開場は開始の30分前。いずれも会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

列品解説

根付 郷コレクション

日時：12月4日(火)14:00～14:30 本館20室

講師：竹内奈美子(工芸室長)

270点余りにのぼる根付を寄贈された郷誠之助氏について、コレクションの形成、その内容についてお話しします。

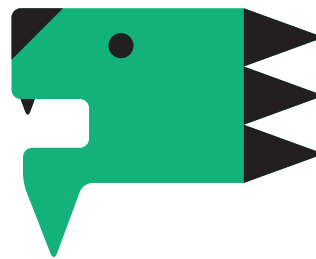
(関連する特集陳列「根付 郷コレクション」の詳細は前号10ページ参照)

ライブツィヒから来た白磁彫像

日時：12月11日(火)14:00～14:30 本館19室

講師：白井克也(平常展調整室長)

ウィーン万博をきっかけに東博にやってきた白磁彫像のモチーフを解説します。
(関連する特集陳列「ライブツィヒから来た白磁彫像―博物館草創期の国際交流2」の詳細は10ページ参照)



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース

EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

考古相互貸借 北九州の青銅器文化

日時：12月18日(火)14:00～14:30 平成館考古展示室

講師：品川欣也(考古室研究員)

北九州の青銅器文化について東日本の事例と比較して紹介します。

(関連する特集陳列「北九州の青銅器文化」の詳細は10ページ参照)

国宝 松林図屏風観賞

日時：2013年1月8日(火)14:00～14:30 本館2室 国宝室

講師：田沢裕賀(絵画・彫刻室長)

長谷川等伯筆として有名な国宝「松林図屏風」。観賞方法について考えてみましょう。見え方が変わるのでしょうか？
(展示に関する詳細は3ページ参照)



●松林図屏風
長谷川等伯筆 安土桃山時代16世紀

国宝 神護寺山水屏風と鎌倉時代の景物画

日時：2013年1月22日(火)14:00～14:30 東洋館ミュージアムシアター

講師：土屋貴裕(絵画・彫刻室研究員)

神護寺に伝来した現存最古の「やまと絵」屏風。謎多き本作鑑賞のポイントを、鎌倉時代の名所・景物画との関わりなどから解説します。

(展示に関する詳細は8ページ参照)

国宝 秋冬山水図 雪舟筆

日時：2013年1月29日(火)14:00～14:30 東洋館ミュージアムシアター

講師：救仁郷秀明(登録室長)

室町時代の絵画、また雪舟の代表作として知られていますが、意外に謎が多い名品です。その魅力と謎についてお話しします。

(展示に関する詳細は8ページ参照)

1000年後の未来に バトンタッチ！



「岩手県立高田病院4階から見た津波が押し寄せる様子(2011年3月11日)」
(佐藤敏通氏撮影)

地球温暖化に伴う自然環境の変動、地震活動の活発化、グローバル化の展開など、いま地球規模で生じている自然と社会の環境変化は、文化遺産の保存と公開、そして継承に対して、さまざまな状況の変化をもたらしつつあります。環境の変化を具体的に挙げると、洪水や地震などの自然災害の多発、二酸化炭素削減に向けたエネルギー使用量の抑制、地球規模で拡大する展覧会によるグローバル輸送、グローバル化がもたらす地域性の均質化と伝統の喪失、IT技術の利用と普及によるヴァーチャル技術の発達もたらす複製技術と実存との関係などです。認識の欠如は危機対応の遅れとなり、その結果としてもたらされる文化遺産の劣化、変質、喪失は想像を超えて大きなものになることが予想されます。こうした状況に博物館はどう立ち向かうのか、これからシリーズで考えてみたいと思います。
(保存修復課長 神庭信幸)

保存と修理情報 14

文化遺産を脅かす危機について考える(その1)

五感を使った美術体験 ワークショップ

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム、電子メール]

おとなのためのワークショップ

唐紙の魅力、料紙の魅力

書跡を味わうときの大きなポイントは紙(料紙)の美しさ。料紙はいろいろな方法で飾られてきました。料紙装飾や唐紙の魅力に触れ、展示作品の唐紙にも見られるもようを摺ってみましょう。

日時：①12月14日(金)17:00～19:30

②12月15日(土)14:30～17:00 (2回とも同じ内容です)

会場：平成館 小講堂

対象：一般(高校生以上)

定員：各回20名(応募者多数の場合抽選。一度に2名までお申し込みいただけます)
参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要です。高校生と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)

申込方法：往復はがき、電子メール、当館ウェブサイトの申込フォームのいずれかで(1)参加希望日(2)参加者全員(2名まで)のお名前・ふりがな(3)代表者の郵便番号、ご住所(4)代表者の電話番号を記入の上、お送りください。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 教育普及室「おとな唐紙」係

電子メール：edu@tnm.jp(件名に「12月14日

(あるいは15日)おとな唐紙」とご記入ください)

締切：①・②ともに12月3日(月) 必着

きらきらの唐紙、
きれいだほー！



事前申込制 [ウェブサイトフォーム、電子メール]

ファミリーワークショップ

「きらきら光る唐紙を摺ろう」

貴族が和歌などを書いた紙はとてもきれいです。金や銀を使っていたり、きれいな色に染められていたり。今回はもようがきらきら光る唐紙に注目。どんなもようがあるのかな？ どうして光っているのかな？ 展示作品をみて、唐紙を摺って、唐紙の謎に挑戦しましょう。

日時：12月15日(土)10:00～12:30

会場：平成館 小講堂

対象：小学生を含むご家族

定員：10組(応募者多数の場合抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要です。)

高校生と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォーム、電子メールのいずれか。電子メールでお申込みの場合、件名を「ファミリー唐紙」とし、本文に(1)参加者全員のお名前・ふりがな、学年(2)郵便番号・ご住所(3)電話番号を明記の上、下記申込先までお送りください。

申込先：edu@tnm.jp 東京国立博物館教育普及室「ファミリー唐紙」係

締切：12月3日(月) 必着



きらきらしたもようが見えるのをお楽しみに！

◆12月、1月に展示される唐紙を使った作品
「巻子本古今和歌集切」伝源俊頼筆
平安時代・12世紀 植村和堂氏寄贈
(12月24日まで、本館3室にて展示)

「大色紙」伝藤原公任筆
平安時代・12世紀 松永安左衛門氏寄贈
(2013年1月16日～2月24日まで、本館4室にて展示)

巻子本古今和歌集切

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

こどもたちのアートスタジオ

勾玉作り

平成館考古展示室にある古代の勾玉を見学した後にオリジナルの勾玉を制作します。完成した作品はお持ち帰りいただけます。

日時：2013年2月3日(日)13:30～15:30(120分)

会場：平成館 小講堂

対象：小学校3年生から高校生

定員：10名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし保護者の方の当日入館料が必要)

申込方法：往復はがき、または当館ウェブサイトの申込フォームで(1)参加者全員の氏名(ふりがな)と学年、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)電話番号(FAX番号)、(4)保護者のご一緒の場合はその人数を記入の上、お送りください。

申込締切：2013年1月7日(月) 必着

宛先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館

ボランティア室

「2月3日勾玉作り」係



デザインどおりに石を
削っていきます

東京芸術大学学生ボランティアによるギャラリートーク

東京芸術大学学生によるギャラリートークです。制作工程模型の制作者の学生によるギャラリートークとあわせて、お楽しみください。

・「伝周文『四季山水図屏風』—山水画の世界を楽しむ—」

日時：2013年1月17日(木)、24日(木)、31日(木)、2月3日(日)、7日(木)、9日(土)

会場：本館3室 解説者：浅井ふたば

・「近世の仏教—松雲元慶『羅漢坐像』—」

日時：12月8日(土)、9日(日)、22日(土)、2013年1月20日(日)、27日(日)、2月10日(日)

会場：本館11室 解説者：菊地真央

・「伊万里—日本初の磁器生産、色絵磁器の誕生—」

日時：2013年1月9日(水)、12日(土)、16日(水)、23日(水)、29日(火)、30日(水)

会場：本館13室 解説者：田代裕一郎

・「下村観山『弱法師』—俊徳丸の静かな祈り—」

日時：12月16日(日)、23日(日)、2013年1月6日(日)、11日(金)、13日(日)、26日(土)

会場：本館18室 解説者：加藤紗織

・「黒田清輝『湖畔』—日本的な油彩画作品—」

日時：2013年2月5日(火)、17日(日)、19日(火)、23日(土)、24日(日)、26日(火)

会場：本館18室 解説者：塩野文音

・「国宝 紅白芙蓉図ができるまで—東洋絵画の絵具の秘密—」

日時：12月12日(水) 会場：本館20室

解説者：石井恭子(制作工程模型作者)

(チラシ「制作工程模型展示「国宝「紅白芙蓉図」ができるまで—東洋絵画の絵具の秘密—」」に掲載した1月19日(土)の回は都合により中止します。)

*各回とも15:30～15:50

集合場所はすべて本館1階エントランス

芸大の学生さんの解説
楽しみだわ！





イベント開催のお知らせ

新春東博寄席 2013

日時：2013年1月13日(日) 開場13:00 開演13:30
会場：平成館大講堂
出演：金原亭馬生、古今亭菊春、金原亭馬治、金原亭馬吉、金原亭駒松
料金：2,000円 全席自由 *当日は、公演のチケットで、総合文化展をご観覧いただけます。
主催：東京国立博物館

チケットのお求め方法

○当館正門観覧券売場でチケット販売

受付時間：開館日の9:30～閉館の30分前まで(月曜休館、ただし12/24は開館、12/25～1/1は休館)

○電話予約販売

申込先：東京国立博物館
総務課イベント担当 電話：03-3821-9270
受付時間：月曜日～金曜日 9:30～17:00
(土日・祝日は除く)
引換方法：公演当日、9:30～当館正門観覧券売場で現金引換えにてお渡します。

*各イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。
*お車でのご来館はご遠慮ください。



■ユリノキひろばで、エッセイ募集

東京国立博物館ウェブサイト(<http://www.tnm.jp/>)のコンテンツ、ユリノキひろばではトーハクの思い出や、大好きな作品などに関するエッセイを募集しています。今回は東京国立博物館140周年を記念して「心に残るトーハクの展覧会」がテーマです。150万人の方にご覧いただいた「モノ・リザ展(1974年)や、仏像ブームを巻き起こした阿修羅展(2009年)……、心に残っている展覧会についてのエッセイをお寄せください。ご投稿いただいた作品の中から館長賞として1名様を選出し、記念品の贈呈、受賞作品を博物館ニュース2013年4・5月号に掲載させていただくほか、ありがとう賞の5名様にも記念品を贈呈いたします。ふるってご応募ください。

年末年始の休館日

12月25日(火)～2013年1月1日(火・祝)は休館です。新年は1月2日(水)より開館します。

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。
賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。
*賛助会員のお申込は随時受け付けております。

○年会費

特別会員 100万円以上
維持会員 法人 20万円 / 個人 5万円

○主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

○お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2012年10月26日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様
維持会員団体
TBS 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建設設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本書道興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットインメディア 様
株式会社 小西美術工芸社 様
凸版印刷株式会社 様
フルガリ ジャパン株式会社 様
財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロンド・ド・ネット 様
シティバンク銀行株式会社 様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様
株式会社 東芝 様
公和図書株式会社 様
有限会社 ギャラリー・竹柳堂 様
株式会社 育仲社 様
株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 アク・ヒューマンリード 様
キョーリン製薬ホールディングス株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 松本建設株式会社 様
株式会社 デュナミス 様
キッコーマン株式会社 様
長谷川 英樹 様
株式会社 ミュゼエンターテインメント 様
公益社団法人 創文書道会 様
株式会社 アルカ 様
朝陽書道会 様
社団法人 書芸文化院 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様

維持会員個人

木村 則子 様
高木 聖鶴 様
早乙女 節子 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
篠内 匡人 様
服部 禮次郎 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様
関谷 衛樹 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保 一子 様
堀田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星 基 尚 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
福垣 哲行 様
帖佐 誠 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
牧 美也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
和田 喜美子 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 泰子 様
山田 陸子 様
絹村 安代 様
岡田 博子 様
日井 生三 様
津久井 秀郎 様
川澄 祐樹 様
神通 豊 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
石川 公子 様
池田 真 様
青山 千代 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
辻 泰二 様
竹下 佳宏 様
野澤 智子 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
折越 卓哉 様
脇 泰一郎 様
木谷 昌巳郎 様
高梨 兵左衛門 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
堤 勝代 様
平井 千恵子 様
高谷 光宏 様
青山 道夫 様
高橋 静雄 様
田中 千秋 様
小西 晴也 様
渡谷 洋志 様
清川 勉 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
田中 望 様
三井 達雄 様
坂詰 貴司 様
吉田 靖 様
松本 雅彦 様
篠田 喜弘 様
片山 正紀 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
大森 雅子 様
折越 卓哉 様
細川 要子 様
錦織 伸一 様
鈴木 幸一 様
秋元 文子 様
土師 昭三 様
上塚 建次 様
鏡 賢志 様
山田 輝明 様
高久 真佐子 様
井出 雪絵 様
佐藤 祐一 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
鈴木 徹 様
今里 美幸 様
櫻井 恵 様
伊佐 健二 様
福井 一夫 様
軽部 由香 様
酒井 弘文 様
木越 純 様
井上 保 様
田中 信 様
岡崎 靖 様
古川 晴紀 様
菊地 昌之 様
増岡 信義 様
山本 隆幸 様
鈴木 春朝 様
山上 知子 様
名取 幸二 様
加藤 康幸 様
要 英範 様
橋本 英信 様
本條 陽子 様
西原 賢一 様
安田 格 様
原田 清朗 様
筑紫 みづえ 様
鳥山 玲 様
山形 哲也 様
尾崎 昌鶴 様
山本 雅司 様
倉片 康雄 様
栗山 哲夫 様
安達 務 様
山根 宗芳 様
梅本 聖 様
橋本 孝世 様
田頭 一舟 様
岡田 良雄 様
阿部 和加子 様
井茂 宗洞 様
高味 良信 様
廣田 雅 様
熊谷 誠治 様
杉山 泰規 様
山田 浩一 様
秋元 あかね 様
笹森 美子 様
高橋 明子 様
村井 明美 様
久保田 哲暁 様
小塚 泰博 様
星 八郎 様
熊谷 潤子 様
佐野 豊進 様
田中 節山 様
高木 聖雨 様
久保 和樹 様
山中 翠谷 様
荒木 章 様
福岡 稔 様
関口 大志 様
中山 文子 様
山口 登 様
柳村 衛樹 様
樺澤 剛志 様
小日向 志乃 様
佐藤 貴士 様
横田 隆義 様
新保 幸男 様
山田 伊知郎 様
田中 章 様
藤巻 綾子 様
手塚 真由美 様
井出 家則 様
ほか63名3社、順不同

資料館より—東洋美術関連図書のご案内

資料館では、来年1月の東洋館のリニューアルオープンにむけ、これまでに収集してきた中国や韓国の美術・考古に関する全集や雑誌などを多数閲覧室に配架しました。近年の研究成果を反映した豊富な図版を含むこれらの資料を、お気軽に手にとってご覧いただくことで、展示への興味や理解も深まるのではないかと思います。その他の分野の図書も含めて、さまざまな情報を入手しやすい環境を整え、より文化財に親しんでいただけるよう努めていきますので、ご期待ください。(住広昭子)

資料館でのアンケートの結果をウェブサイトで公開

2012年7月の1ヵ月間、資料館利用者235人を対象にアンケートを実施しました。資料館の利用目的の問いに「調査・研究」と「教養・娯楽」の回答がそれぞれ3割強を超える結果となり、利用者が資料館に対し、「専門図書館」と「一般図書館」の二つの側面を求めていることがわかりました。今後、アンケートの結果を踏まえ、利用者のニーズに沿った資料館を目指していきたいと思えます。結果はウェブサイトでも公開していますので、ぜひご覧ください。(勝木言一郎)



特別展「飛弾の円空 一千光寺とその周辺の足跡」ご招待券と東洋館ミュージアムショップグッズをプレゼント

本誌6ページでご紹介した特別展「飛弾の円空 一千光寺とその周辺の足跡」(1月12日(土)～4月7日(日))のご招待券を抽選で10組20名様にプレゼント。また2013年1月2日の東洋館リニューアルオープンを記念して発売される「東洋美術10選 オリジナル切手シート」(1,200円)を抽選で10名様にプレゼントします。締切は2013年1月24日(木)必着。

○プレゼントの応募方法

はがきにご希望の商品(「特別展チケット」もしくは「切手シート」)、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画、なぜならトーハク(本誌7ページ)で聞きたいことをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース12・1月号」プレゼント係



TNM & TOPPANミュージアムシアター

◆TNM & TOPPAN ミュージアムシアターからのお知らせ 1月2日より、東洋館で新たな上演を開始します

2007年11月より資料館で運営してまいりましたTNM & TOPPAN ミュージアムシアターは、2013年1月より場所を東洋館に移し、新設のシアターでよりパワーアップして上演を開始いたします。高精細4Kプロジェクタによる300インチの大スクリーンで、時空を超えた文化財を訪ねる旅へナビゲーターがご案内するバーチャリアリティシアターです。上演日は水・木・金・土・日・祝日と増え、有料での提供となります。上演プログラム、サービス内容などの詳細は、ウェブサイトにて随時情報を発信していきます。

なお、移転にともない、ミュージアムシアターでの上演を11月～12月の間、お休みさせていただきます。2013年1月のリニューアルオープンをどうぞお楽しみに！

URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>



新TNM & TOPPAN ミュージアムシアター
(座席数:98席、スクリーン:300インチ、4Kプロジェクタ、音響:5.1ch)

東博ボランティアデー 2012「ボランティアからありがとう」

当館では、来館者の方がより東京国立博物館に親しみをもち、心に残る体験をしていただけるよう、ボランティアによる活動を行っています。今年は「ボランティアからありがとう」をテーマに、皆様への感謝を込めて、さまざまなイベントを行います。

日時:12月1日(土)、2日(日) 10:30～16:00

◆生涯学習ボランティア募集説明会

ボランティアの応募をご検討の方を対象に、概要と活動の仕組み、応募方法についてご説明します。(ご参加は、応募の際の必須条件ではありません。)

時間:両日とも10:30～12:30、16:00～

(すべて同内容、所要時間30分)

会場:本館20室

◆ボランティア活動紹介コーナー

パネルにてご紹介。どなたでもお気軽にご覧いただけます。

時間:両日とも10:30～16:00

会場:本館20室



◆現場を見てみよう!「ボランティア活動紹介ツアー」

現役ボランティアが活動現場にお連れします。直撃インタビューも計画中。

時間:両日とも13:00～13:30(いずれも同内容)

集合場所:本館20室

◆参加してみよう! ガイドツアーや体験コーナー

ハンズオン体験コーナー「日本の模様でデザインしよう!」などの通常の活動を実施します。ガイドツアーはこの2日間で全種類を行うほか、今回だけのスペシャルコースもご用意。

(詳細は本誌16ページ、チラシ、当館ウェブサイト、当日の告知をご覧ください。)

*ボランティアデーの催しは、お茶会(参加費500円)を除いて参加無料です。ただし、当日の入館料が必要です。

■平成25年度 生涯学習ボランティア募集のお知らせ

あなたも、博物館に来館される方々をお手伝いする活動をしてみませんか。活動内容は、館内施設のご案内や印刷作業、バリアフリー対応、イベントの運営補助など多岐にわたります。応募受付期間は12月7日(金)～2013年1月11日(金)です。詳細はウェブサイトです。

*お問合せ 当館ボランティア室 電話 03-3822-1111(代表)

『MUSEUM』640号(2012年10月15日発行)の掲載論文



- ①「信楽・来迎寺の院快・院静・院禪作本造阿弥陀三尊像について」
岩田茂樹(奈良国立博物館学芸部長補佐)
- ②「十六・十七世紀における備前焼茶入の諸相」
下村奈穂子(筑波大学人間総合科学研究科)
- ③「『研究ノート』東京国立博物館・静嘉堂文庫美術館分蔵十二神将像の伝来と作者—京都・浄瑠璃寺からの流出と運慶銘発見記事—」
神野祐太(法政大学国際日本学研究所客員研究員)

国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉特別展「国宝 十二天像と密教法会の世界」
2013年1月8日(火)～2月11日(月・祝)

〈奈良国立博物館〉特別展「おん祭と春日信仰の美術」
12月8日(土)～2013年1月20日(日)

〈九州国立博物館〉特別展「ボストン美術館 日本美術の至宝」
2013年1月1日(火・祝)～3月17日(日)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

年会費 1万円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に際しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート

一般4,000円 学生2,500円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館(東洋館は2013年1月2日リニューアルオープン)、表慶館・黒田記念館など一部展示館を閉館しています。

◎お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイトです

【郵便振替でのお申込】

- 振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書で記入ください
- 振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください
- 振替手数料はお客様の負担となります
- ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号 00140-1-668060

●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◎お申込は郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号 00100-2-388101

- 振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書で記入ください
- 振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
- 振替手数料はお客様のご負担となります
- 次号より送付ご希望の場合、締切は2013年1月10日まで

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブサイト更新などの情報をいち早くお届けします

●ご登録は <http://www.tnm.jp/> から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00

2012年12月まで、2013年3月～12月の特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで開館

2013年4～9月の土日祝休日は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日 原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2012年12月25日～2013年1月1日)。

総合文化展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください
- 満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*各種イベント等のお申込に際してご提供いただいた個人情報、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

2012・12

東京国立博物館 2012年12月・2013年1月の展示・催し物

2013・1

1 土	東博ボランティアデー*1 作 10:30、13:00 建 11:00(手話通訳付) 考 11:30 英 12:00 茶 12:30、14:00 彫 12:30 樹 13:30 本 14:00(手話通訳付) 陶 14:30 法 15:00
2 日	東博ボランティアデー*1 作 10:30、13:00 探 11:00 浮 13:30 庭・本 14:00 考 14:30 法 15:00
3 月	休館日
4 火	列品解説「根付 郷コレクション」14:00 本館20室*2 建 13:00
5 水	
6 木	本 14:00
7 金	夜間開館(20:00まで) 法 15:00
8 土	芸大トーク「近世の仏教」15:30 本館11室*3
9 日	芸大トーク「近世の仏教」15:30 本館11室*3 浮 14:00 秋の庭園開放
10 月	休館日
11 火	列品解説「ライブツィヒから来た白磁彫像」14:00 本館19室*2
12 水	芸大トーク「国宝 紅白芙蓉図ができるまで」15:30 本館20室*3 樹 13:30 浮 14:00
13 木	本 14:00 庭 14:00
14 金	夜間開館(20:00まで) 英 14:00 考 14:30 おとなのためのワークショップ「唐紙の魅力、料紙の魅力」17:00 平成館小講堂*4
15 土	月「博物館草創期の国際交流」13:30 平成館大講堂*2 建 11:00 本 12:00、14:00 樹 13:30 法 15:00 ワークショップ ファミリー 10:00/おとな 14:30 平成館小講堂*4
16 日	「東京国立博物館 冬のコンサート」13:30 平成館ラウンジ*5 芸大トーク「下村観山『弱法師』」15:30 本館18室*3 英 12:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30
17 月	休館日
18 火	列品解説「考古相互貸借 北九州の青銅器文化」14:00 平成館考古展示室*2 建 13:00
19 水	
20 木	本 14:00 彫 15:00
21 金	夜間開館(20:00まで) 法 15:00
22 土	特別講演会「北部九州の弥生文化」*2 13:30 平成館大講堂 芸大トーク「近世の仏教」15:30 本館11室*3 陶 14:30
23 日・祝	芸大トーク「下村観山『弱法師』」15:30 本館18室*3 彫 11:00 浮 14:00 庭 14:00
24 月・休	特別展「中国 王朝の至宝」
25 火	休館日
26 水	休館日
27 木	休館日
28 金	休館日
29 土	休館日
30 日	休館日
31 月	休館日

1 火・祝	休館日
2 水	東洋館リニューアルオープン 新春イベント*6 博物館に初もうで
3 木	新春イベント*6
4 金	
5 土	ガイドツアー「東洋館をめぐる旅」10:30 東洋館*7 月「日年一へびの美術入門」13:30 平成館大講堂*2 建 11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
6 日	芸大トーク「下村観山『弱法師』」15:30 本館18室*3 考 14:30
7 月	休館日
8 火	ガイドツアー「東洋館をめぐる旅」10:30 東洋館*7 列品解説「国宝 松林図屏風観賞」14:00 本館2室国宝室*2 建 13:00
9 水	芸大トーク「伊万里」15:30 本館13室*3 樹 13:30
10 木	本 14:00 庭 14:00
11 金	芸大トーク「下村観山『弱法師』」15:30 本館18室*3 英 14:00 考 14:30
12 土	芸大トーク「伊万里」15:30 本館13室*3 特別展「飛騨の円空」 陶 14:30
13 日	新春東博寄席 2013 13:30 平成館大講堂*8 芸大トーク「下村観山『弱法師』」15:30 本館18室*3 浮 14:00
14 月・祝	
15 火	休館日
16 水	芸大トーク「伊万里」15:30 本館13室*3 浮 14:00
17 木	芸大トーク「伝周文『四季山水図屏風』」15:30 本館3室*3 本 14:00 彫 15:00
18 金	法 15:00
19 土	東洋館リニューアル記念講演会「ドイツ・カナダ所在のアジア美術と展示方法」13:30 平成館大講堂*7 建 11:00(手話通訳付) 本 12:00、14:00 樹 13:30 法 15:00
20 日	芸大トーク「近世の仏教」15:30 本館11室*3 英 12:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30
21 月	休館日
22 火	列品解説「国宝 神護寺山水屏風と鎌倉時代の景物画」14:00 東洋館ミュージアムシアター*2 特別展「書聖 王羲之」 建 13:00
23 水	芸大トーク「伊万里」15:30 本館13室*3 樹 13:30
24 木	芸大トーク「伝周文『四季山水図屏風』」15:30 本館3室*3 本 14:00
25 金	考 14:30
26 土	記念講演会「円空と日本の風土」13:30 平成館大講堂*9 芸大トーク「下村観山『弱法師』」15:30 本館18室*3 陶 14:30
27 日	芸大トーク「近世の仏教」15:30 本館11室*3 彫 11:00 浮 14:00 庭 14:00
28 月	休館日
29 火	列品解説「国宝 秋冬山水図 雪舟筆」14:00 東洋館ミュージアムシアター*2 芸大トーク「伊万里」15:30 本館13室*3
30 水	芸大トーク「伊万里」15:30 本館13室*3
31 木	芸大トーク「伝周文『四季山水図屏風』」15:30 本館3室*3 本 14:00 (3/3まで) (4/7まで)

*1 詳細は本誌15ページ *2 詳細は本誌12ページ *3 芸大ギャラリートーク、集合場所:本館1階エントランス。詳細は本誌13ページ *4 詳細は本誌13ページ *5 詳細は前号14ページ *6 詳細は本誌2ページ *7 詳細は本誌4ページ
*8 詳細は本誌14ページ *9 詳細は本誌6ページ

本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス

浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス

陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス

彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス

樹＝ボランティアによる樹木ツアー(庭園開放時は、前庭と北側庭園の樹木をご案内します)、集合場所:本館1階エントランス

考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口

法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス

茶＝ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館1階エントランス(参加費500円、先着30名、開始30分前に集合場所まで整理券配布)

英＝ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス

庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー 集合場所:本館1階エントランス(先着20名、開始30分前に集合場所まで整理券配布)

建＝ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス

作＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ「勾玉作り体験」(事前申込制。12/1,2の申込は締め切りました。)

探＝ボランティアによるたんけんマップツアー、集合場所:本館1階エントランス

庭・本＝ボランティアによる庭園茶室&本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス 屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。

月＝月例講演会、詳細は本誌12ページをご覧ください

ミュージアムシアターは2013年1月2日、東洋館にリニューアルオープンします。本誌15ページ、および当館ウェブサイトをご参照ください。